AmPlatea

サービス・モビリティと多形態コミュニティの繋がりによる社会的孤立・孤独予防モデル

米澤 拓郎　名古屋大学大学院 工学研究科 准教授（代表研究者）
細田 満和子 東京大学大学院 医学系研究科 特任研究員 /星槎大学 共生科学部 教授
中澤 仁　慶應義塾大学 環境情報学部 教授

研究協力機関
木村 聡　インターネットITS協議会
芝原 靖典　大磯地方創生事業推進コンソーシアム

MAKE NEW STANDARDS. 東海国立大学機構 | 名古屋大学

社会的孤立・孤独とは

社会的孤立＝

他者との物理的・社会的つながりが欠如した客観的状態

孤独＝

望ましい人間関係の量や質と現実とのギャップから生じる主観的感情

人に囲まれていても孤独を感じる場合もあれば，孤立していても孤独を感じない場合もある。

両者は必ずしも一致しないが，孤立が長期化することで孤独感が高まるなど密接な関係にある。

社会的孤立と孤独における健康的リスク

「孤独は現代における最も深刻な伝染病である」

-孤独な人は早死にするリスクが50%高まる。

-1日15本のタバコを吸い、アルコール依存症になるのと同じ。

-運動しないよりも高く、肥満の2倍。

-冠状動脈性心臓病のリスクを29%、心臓発作のリスクを32%高める。

-孤独な人はそうでない人に比べ、認知機能が20%速い速度で低下する。

「個人の問題」から「公衆衛生上の課題」へ

World Health Organization | Health Topics | Countries | Newsroom | Emergencies

WHO launches commission to foster social connection

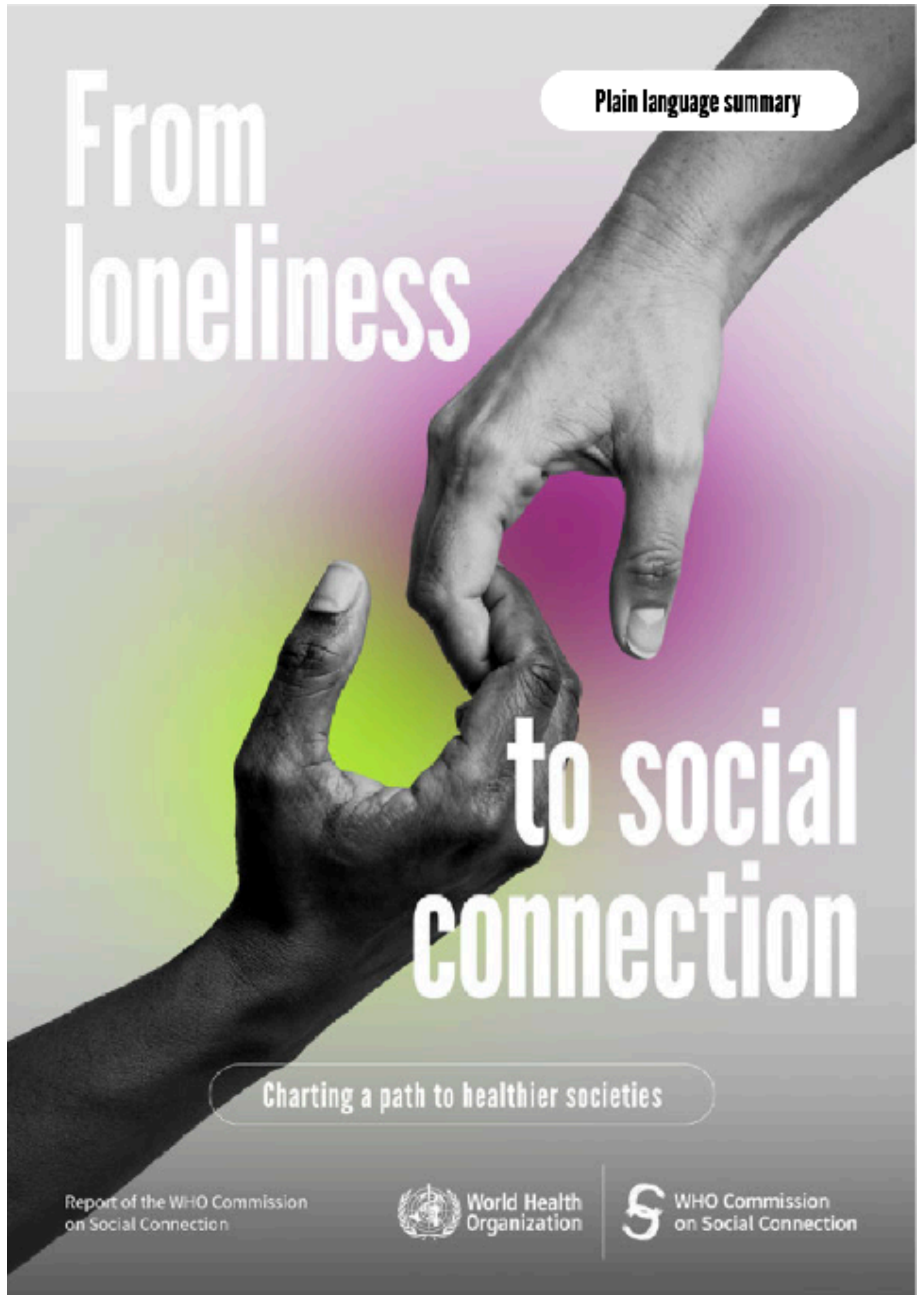
15 November 2023 | News release | Geneva |Reading time: 3 min (711 words)

WHO has announced a new Commission on Social Connection, to address loneliness as a pressing health threat, promote social connection as a priority and accelerate the scaling up of solutions in countries of all incomes.

Co-chaired by U.S. Surgeon General, Dr Vivek Murthy, and African Union Youth Envoy, Chido Mpemba, the Commission consists of 11 leading policy-makers, thought leaders and advocates. Running for three years, it will analyse the central role social connection plays in improving health for people of all ages and outline solutions to build social connections at scale. The Commission will consider how connection enhances the well-being of our communities and societies and helps foster economic progress, social development, and innovation.

Social isolation – having an insufficient number of social connections, and loneliness – and the social pain of not feeling connected, are widespread. Contrary to the perception that isolation and loneliness primarily affect older people in high-income countries, they impact the health and well-being of all age groups across the world. One in four older people experience social isolation and the rates are broadly similar in all regions. Among adolescents, between 5–15% experience loneliness, according to research findings. However, these figures are likely to be underestimations.

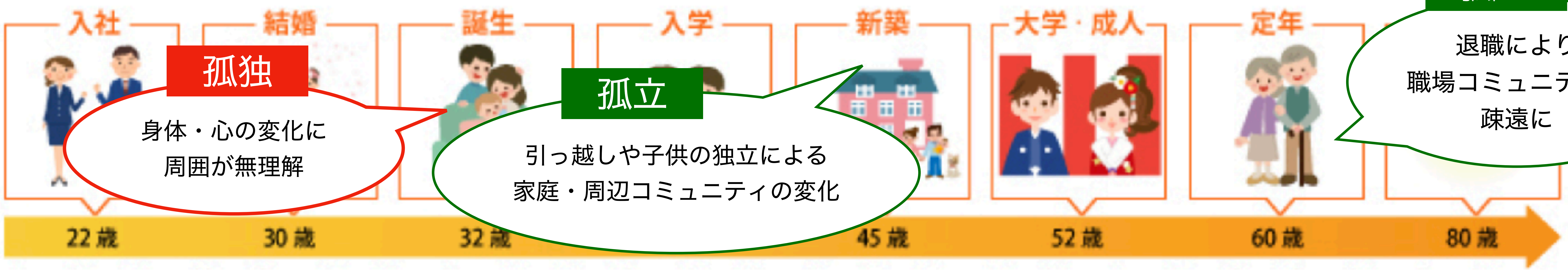
"High rates of social isolation and loneliness around the world have serious consequences for health and well-being. People without enough strong social connections are at higher risk of stroke, anxiety, dementia, depression, suicide and more," said WHO Director-General Dr Tedros Adhanom Ghebreyesus. "This WHO Commission will help establish social connection as a global health priority and share the most promising interventions."



初のWHOレポート(2025.6.30)
215ページ

誰もが社会的孤立・孤独の当事者になりえる

ライフイベントの例 [1]

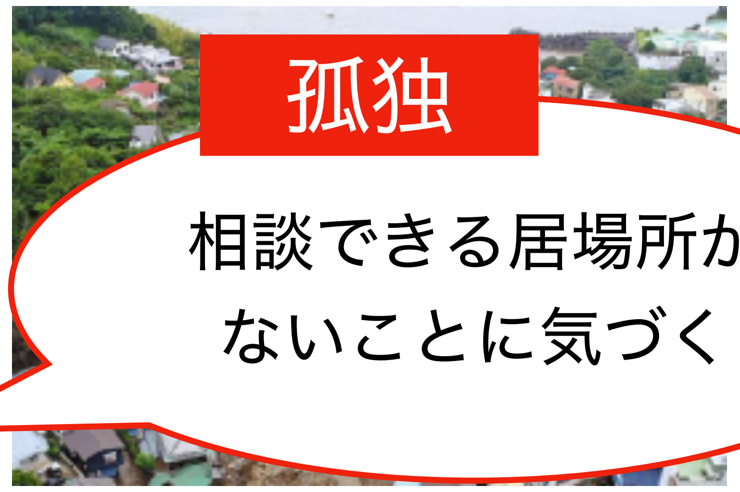


孤独
身体・心の変化に
周囲が無理解

孤立
引っ越しや子供の独立による
家庭・周辺コミュニティの変化

孤立
退職により
職場コミュニティと
疎遠に

想定以上の環境変化 + 想像すらしていなかった環境変化



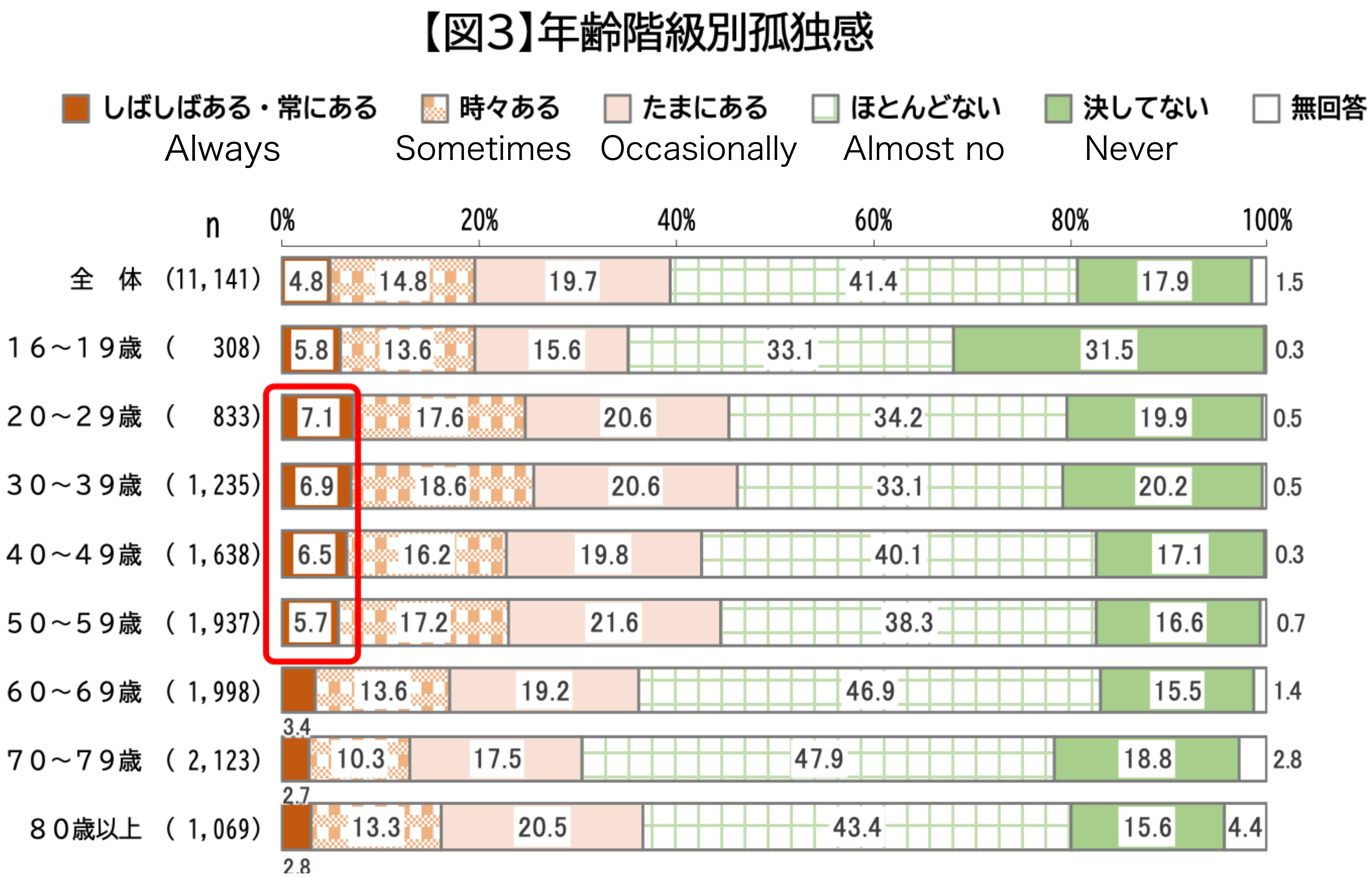
孤独
相談できる居場所が
ないことに気づく

「帰属するコミュニティの数が少なく(≒低い多様性)、増えない」状態
「帰属するコミュニティとのつながりが徐々に弱まる」状態
➡ **リスク**

新しいコミュニティへの出会いを
継続して支援することが必要

[1] https://jpn.pioneer/ja/corp/group/pioneerwelfareservice/mainbusiness/welfare/

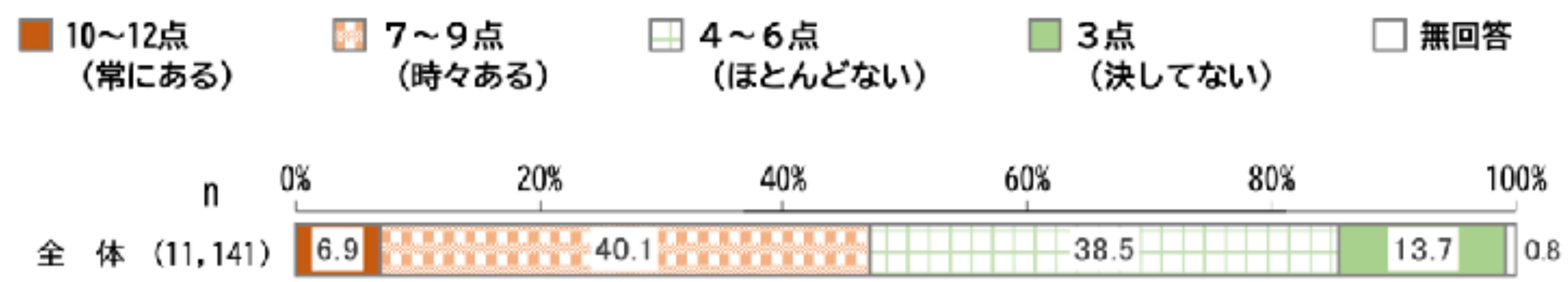
年代別孤独感 (内閣府調査 2023)



社会的孤立・孤独予防の難しさ

- **国民の約3分の1**が孤立・孤独予備軍の可能性

【図１－４】年齢階級別孤独感（間接質問）



内閣府・孤独・孤立の実態把握に関する全国調査（令和5年実施）
https://www.cao.go.jp/kodoku_koritsu/torikumi/zenkokuchousa/r5.html

- 孤立や孤独の経験には個人差が大きく、**普遍的な介入法を同定することは容易でない**（浦 2024）

① **マスな層**（≒4000万人）**にアプローチ**可能としつつ、
② 個々人には**オーダーメイド的な介入**が望ましいという、
相反する要求を同時に満たす必要性

→ AmPlatea プロジェクト **の目標**

これまでの取り組み概要

メカニズム理解

大磯町の現状、課題ヒアリング

東光院

西部地域包括ケアセンター

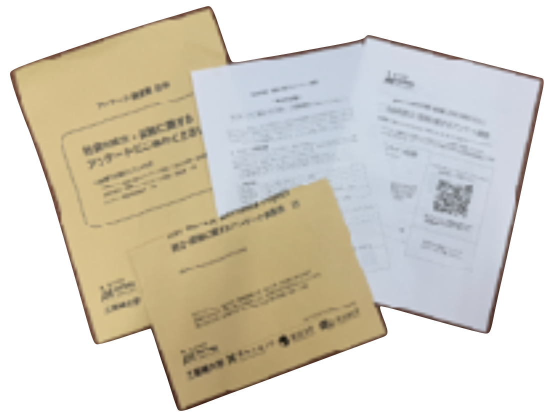
かたつむりの家

大磯病院

民生・児童委員

大磯町役場

全戸アンケート調査の実施



神奈川県大磯町全戸（約13000戸）オンライン or 紙回答

孤独・孤立感
日本語版UCLA孤独感尺度（第３版）短縮版[豊島・佐藤2021] など
興味、思考、行動の幅
知的好奇心尺度［西川ら2015]，[BIG5尺度][日本語版TIPI-J]など
交通手段、外出状況　など合計30問

約2500件の回答。分析を開始。

社会像の描出

「知援力」「活援力」を高められる社会

患者をエンパワーしていく地域やコミュニティの活動や仕組みが、実は各地域にいくつもある

知援力:いかなる支援があるかを知るチカラ
活援力:そうした支援を活用していくチカラ

「社会的処方」への橋渡し

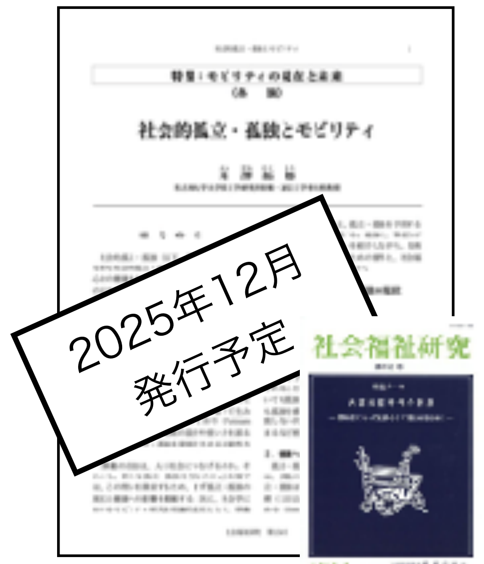
「医療における患者のチカラ
孤独・孤立を予防する
コミュニティ」
細田満和子
2025年4月出版

「モティリティ」の支援と豊かな「予期空間」の醸成

人と人をつなぐモビリティ政策では、「移動の効率化」だけではなく「移動の意味や楽しさを人々に予期させる文化的・社会的仕掛け」が必要となる

モティリティ: 移動を可能にする「資本」
（アクセス・能力・解釈/取り込み）
予期空間: 未来の移動を想像・計画する過程

技術と社会的ケアの統合

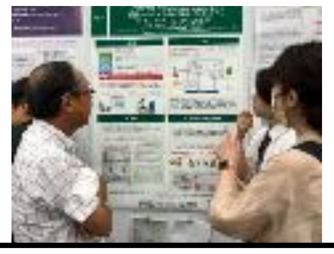


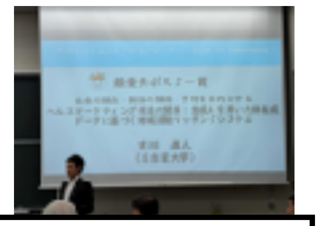
2025年12月
発行予定

「社会的孤立・孤独と
モビリティ」
米澤 拓郎
社会福祉研究第154号

予防へのアプローチ

体組成計を活用した地域活動マッチングシステム





ヘルスコミュニケーションウィーク2024
最優秀ポスター発表賞

SFC Open Research Forum 2024

↓

コンセプトの整理・拡張
知財出願（海外出願も準備中）

コミュニティ・コンパス

日常の導線のなかで、
地域コミュニティへの自然な気づきを

大阪・関西万博

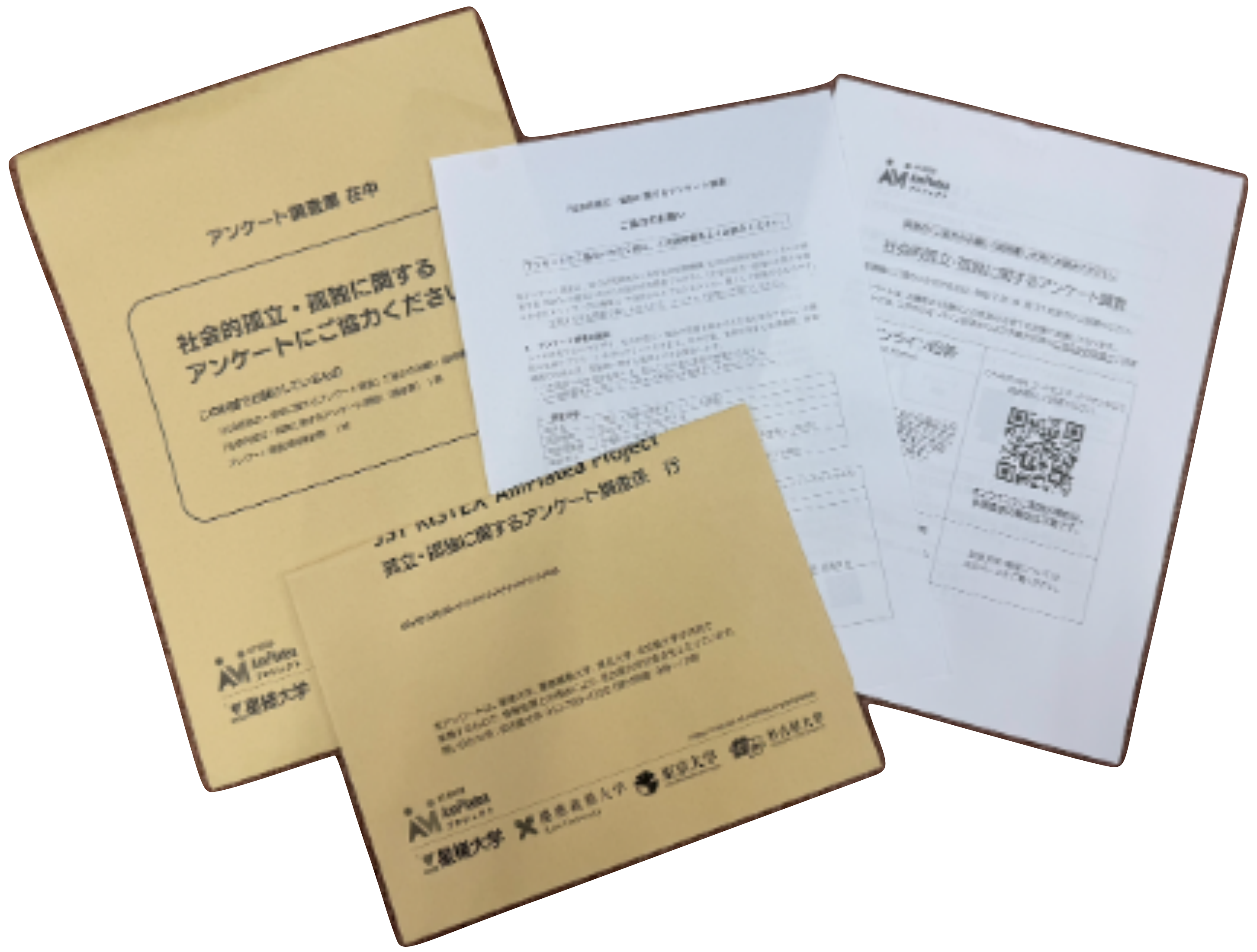
京都ユースクリニック連携

東京都 豊島区 新保健所への導入が決定
（名称：としまコミュニティ・コンパス）

連携協定締結

豊島区長 記者会見

神奈川県大磯町における全戸(約13000戸）、１８歳以上を対象としたアンケート調査を実施（2025年7月中旬より配布～８月31日締切）



孤独・孤立感　日本語版UCLA孤独感尺度（第３版）短縮版[豊島・佐藤2021] など

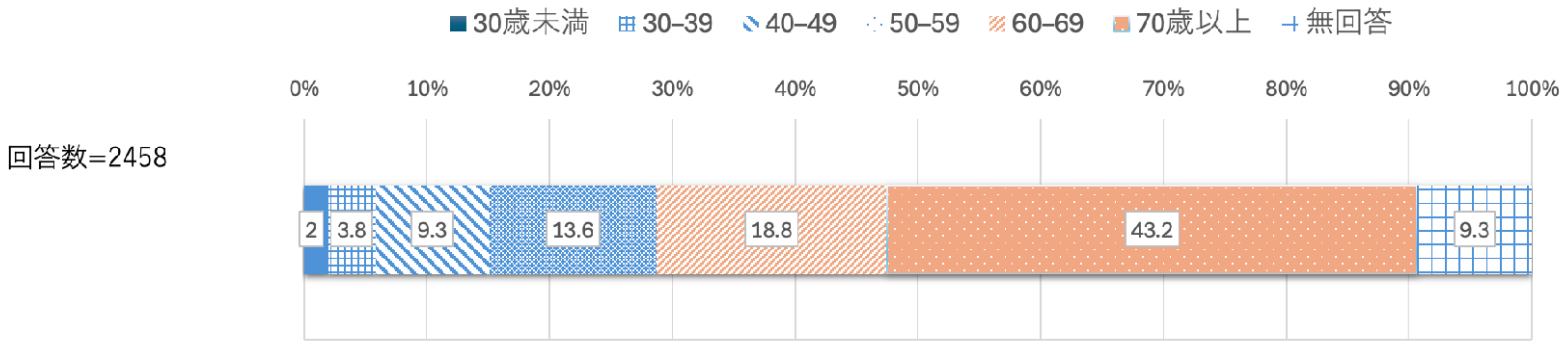
興味、思考、行動の幅　知的好奇心尺度 [西川ら2015], [BIG5尺度][日本語版TIPI-J]など

交通手段、外出状況

など合計30問

約2500の回答を収集（内訳：オンライン回答1136, 紙郵送回答1345）

問1　あなたの年齢をお答えください

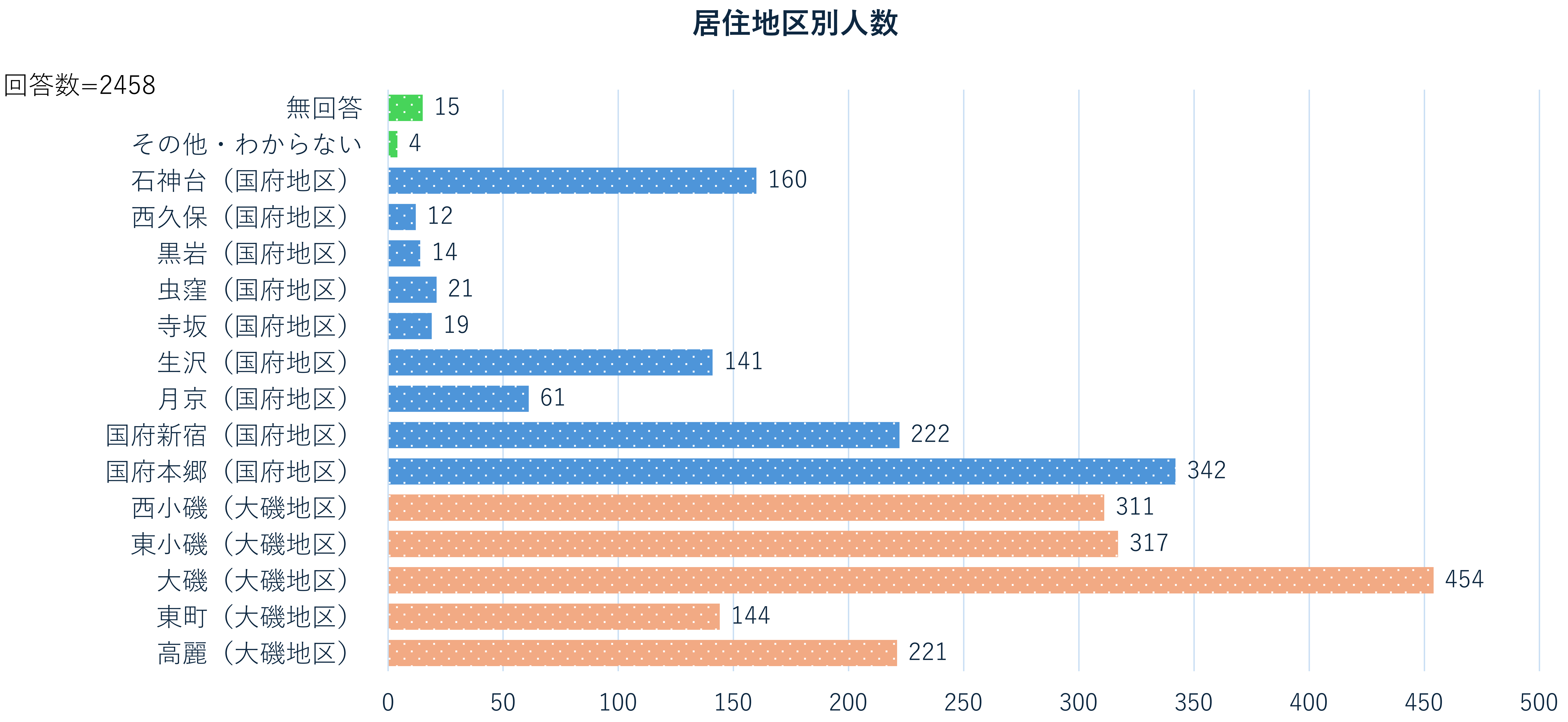


回答者の方の年齢構成は、「70歳以上」が43.2％と最も多く、
続いて 「60～69歳」18.8％、「50～59歳」13.6％ 、 「40～49歳」9.3％、
若年層（39歳以下）は全体の5.8％にとどまり、高齢層の割合が高い結果となっています

※ データの偏りと信頼性について

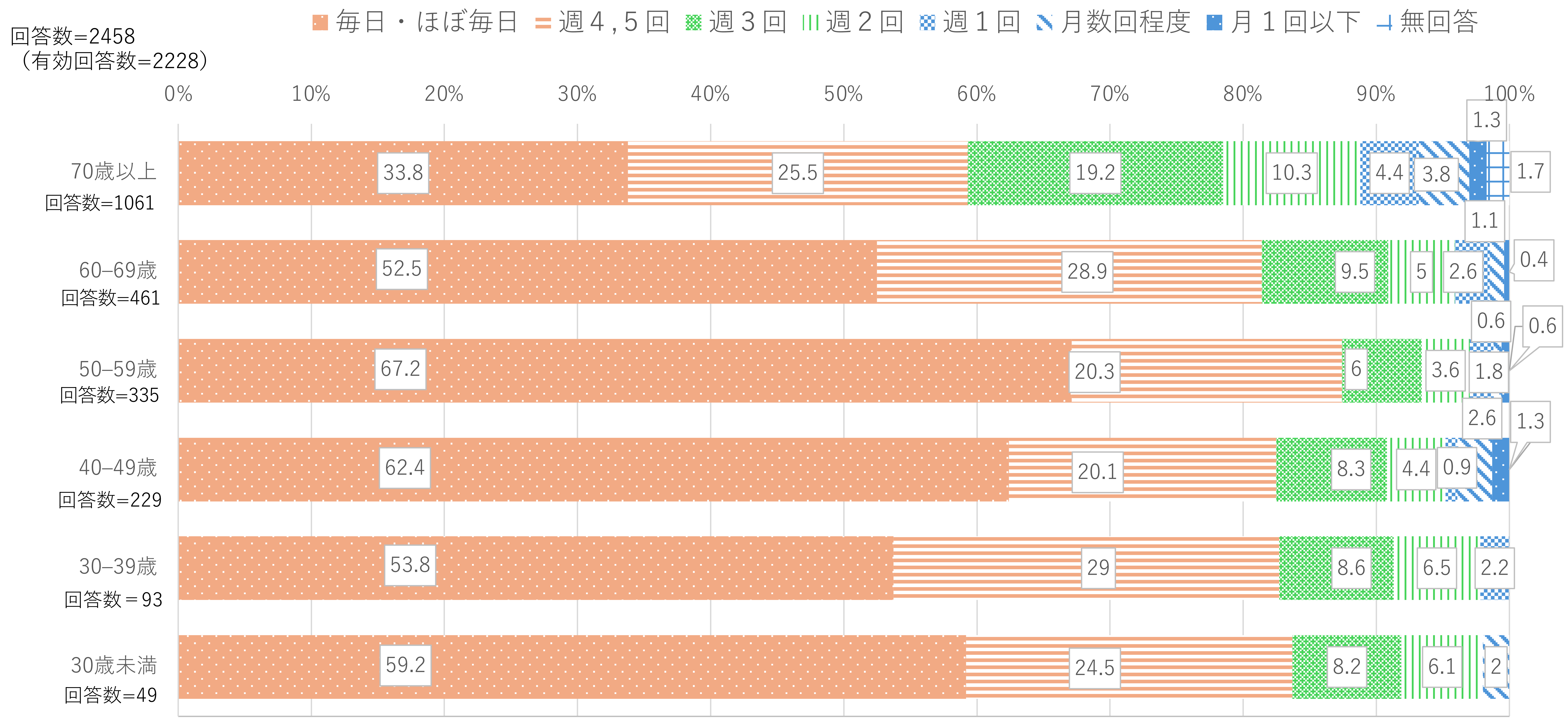
年齢区分	実際の人口比率(人数) (R6.1.1時点)	アンケート 回答比率（人数）	誤差の範囲 (最大誤差)	データの信頼性評価
18~30歳未満	9.7%(2601)	2%(49)	± 14.0%	低い (参考値レベル)
30-39歳	8.7%(2330)	3.8%(93)	± 10.2%	やや低い(大まかな傾向のみ)
40-49歳	15.6%(4180)	9.3%(229)	± 6.5%	普通 (実用レベル)
50-59歳	18.3%(4916)	13.6%(334)	± 5.4%	高い
60-69歳	14.5%(3902)	18.8%(462)	± 4.6%	高い
70歳以上	33.1% (8882)	43.2%(1062)	± 3.0%	極めて高い
(無回答)	-	9.3%(229)	-	-
全体	100%(26830)	100%(2458)	± 2.0%	

居住地区詳細

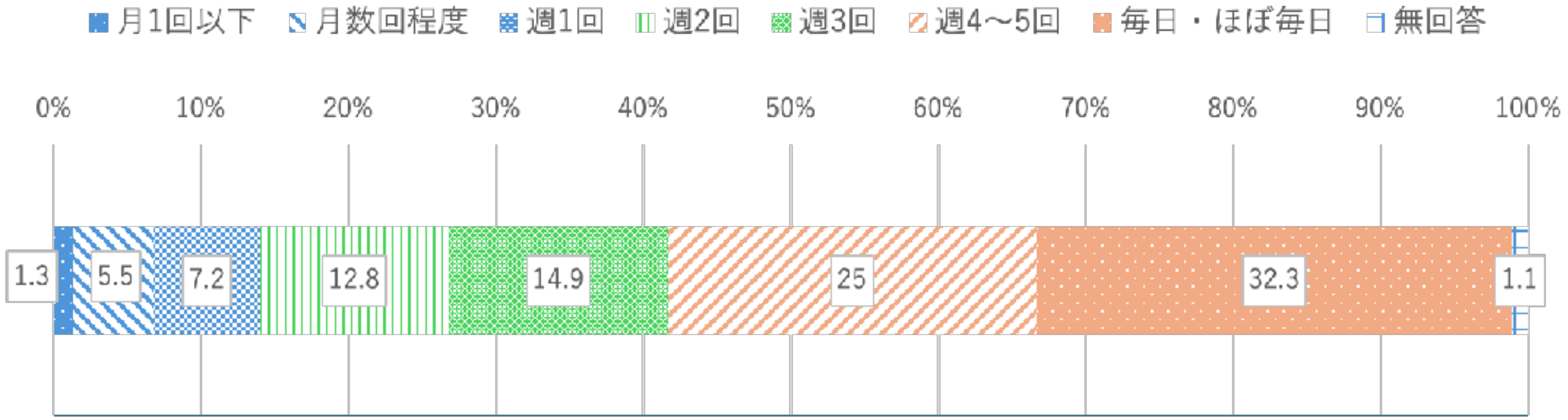


居住地区別人数
回答数=2458
無回答
15
その他・わからない
4
石神台（国府地区）
160
西久保（国府地区）
12
黒岩（国府地区）
14
虫窪（国府地区）
21
寺坂（国府地区）
19
生沢（国府地区）
141
月京（国府地区）
61
国府新宿（国府地区）
222
国府本郷（国府地区）
342
西小磯（大磯地区）
311
東小磯（大磯地区）
317
大磯（大磯地区）
454
東町（大磯地区）
144
高麗（大磯地区）
221
0
50
100
150
200
250
300
350
400
450
500

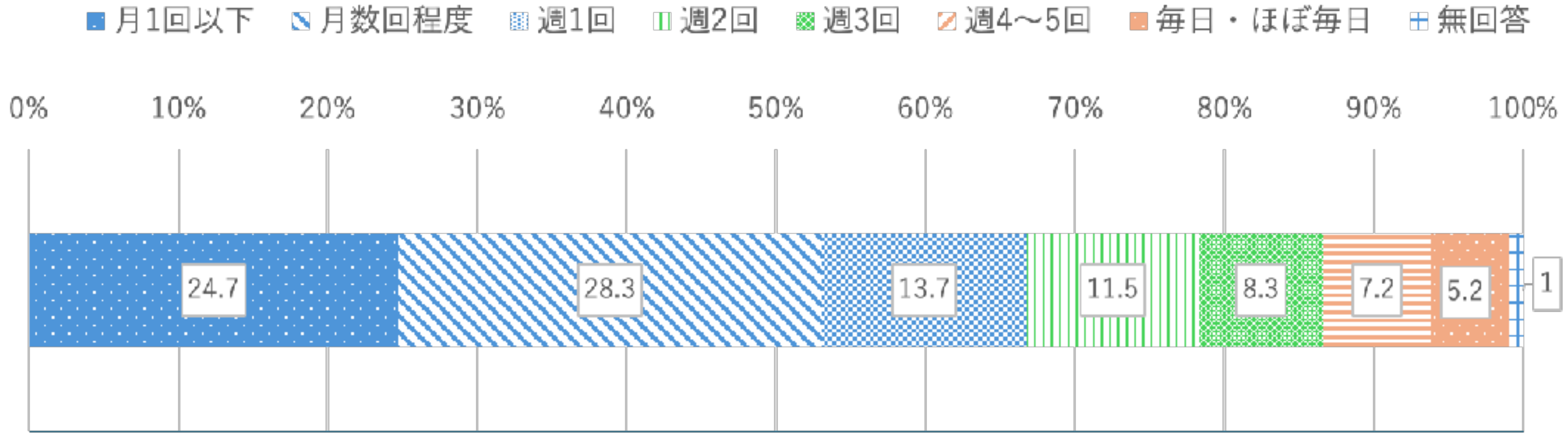
問11 あなたは日頃どのくらいの頻度で外出しますか（外出目的は問いません）



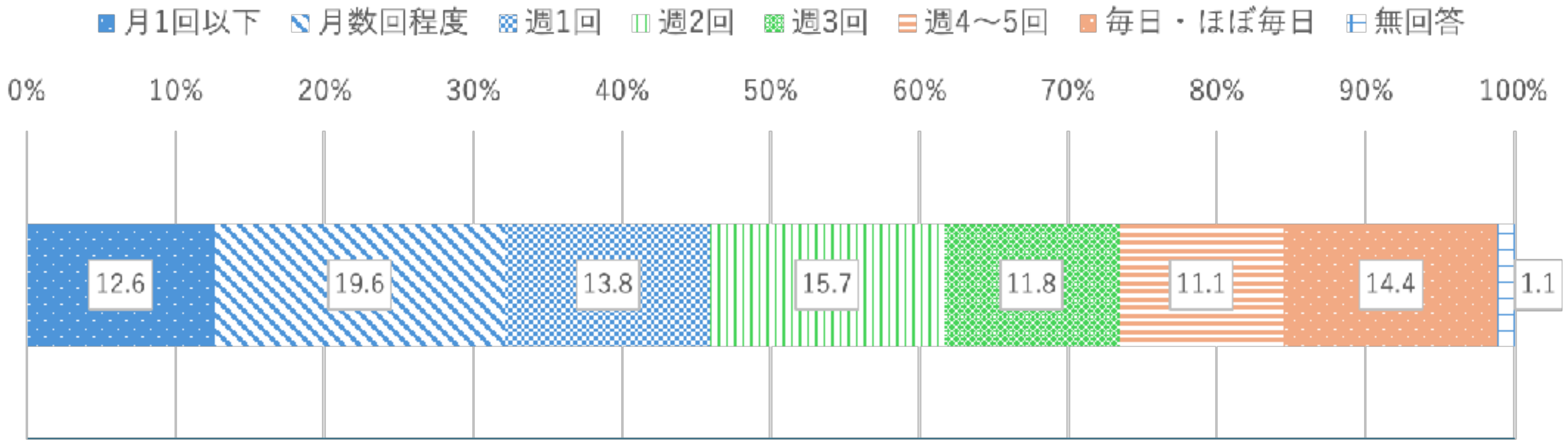
「日常外出」……
通勤・通学・通院・買い物など



「交流外出」……
人との交流を主な目的

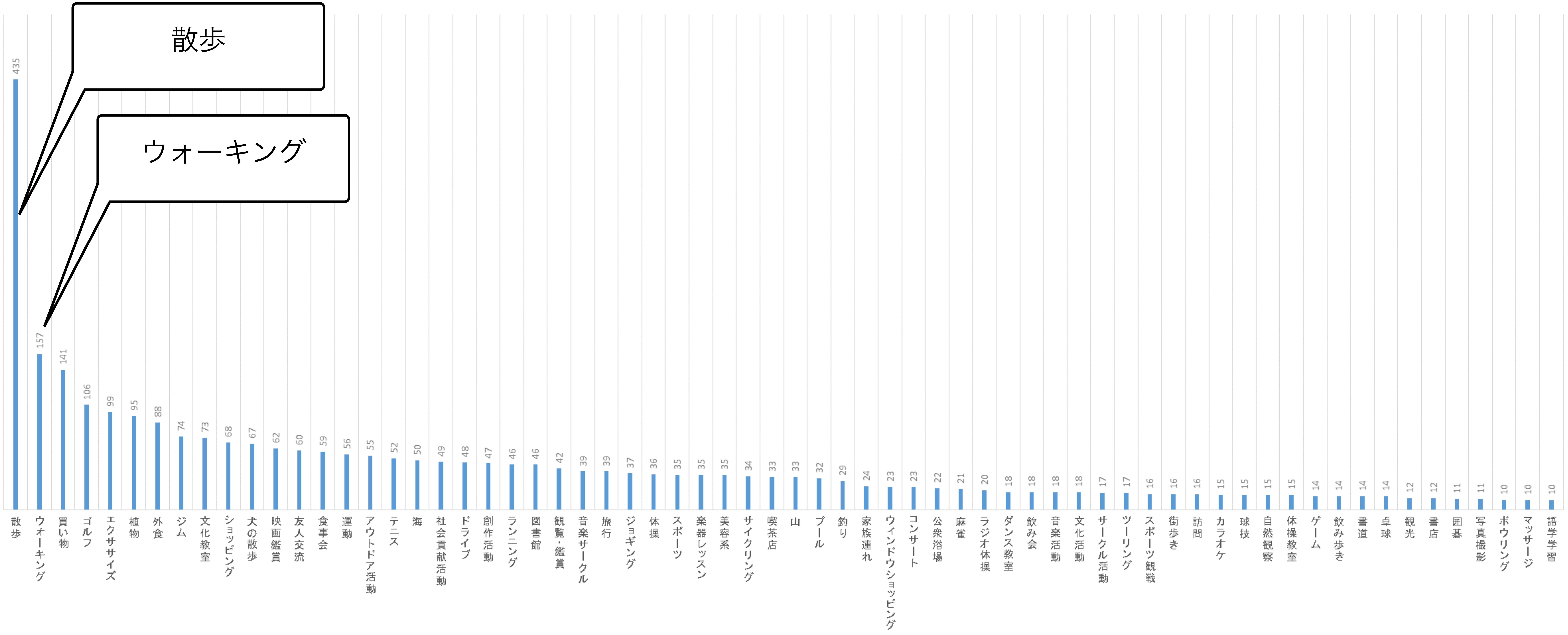


「余暇外出」……
趣味や娯楽、散歩や運動などの目的



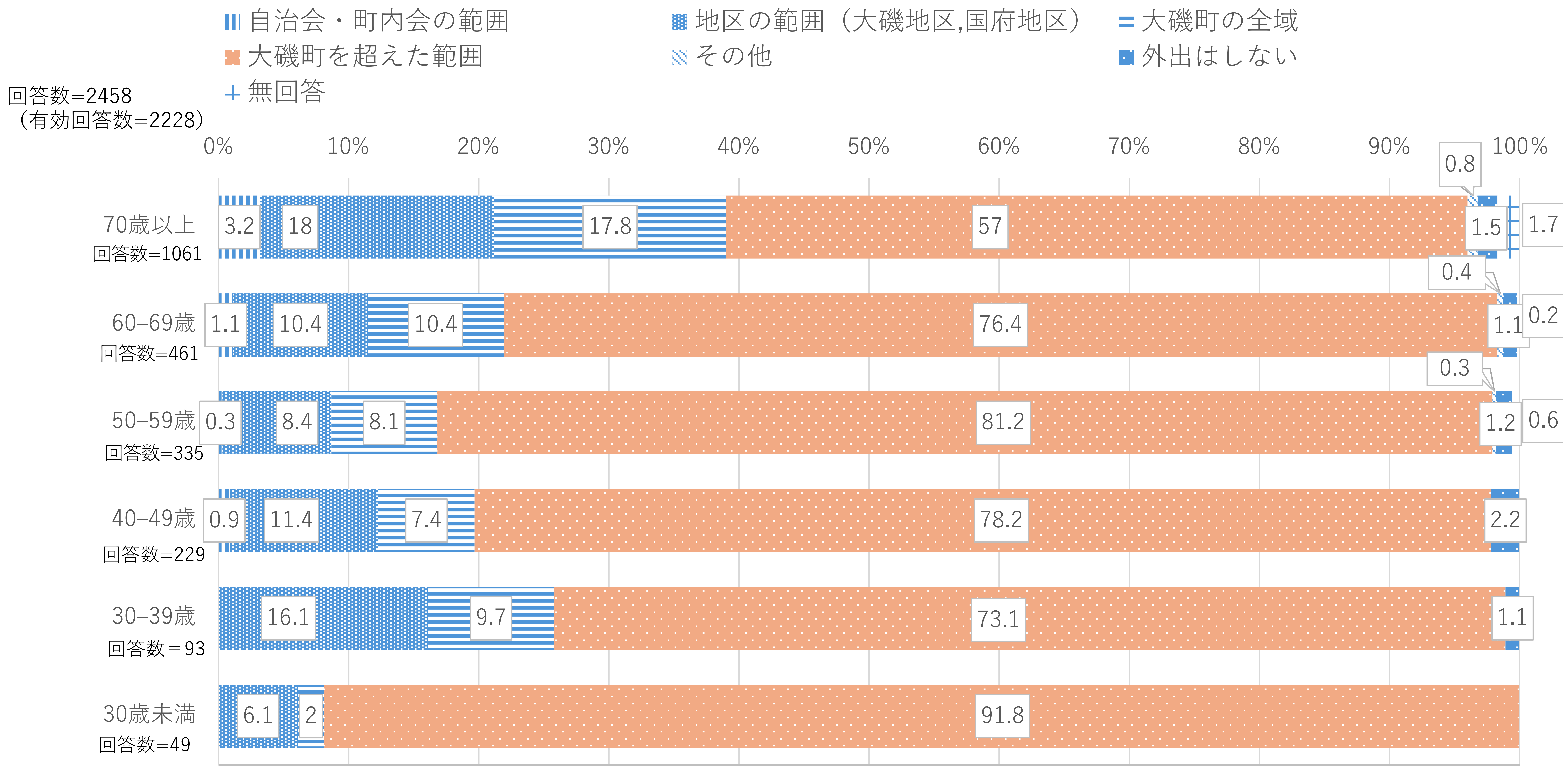
問15 (問 14)でお答えいただいた「余暇外出」のうち、日常的に行っている内容を差し支えない範囲で教えてください。

余暇外出のうち10名以上の回答があったもの

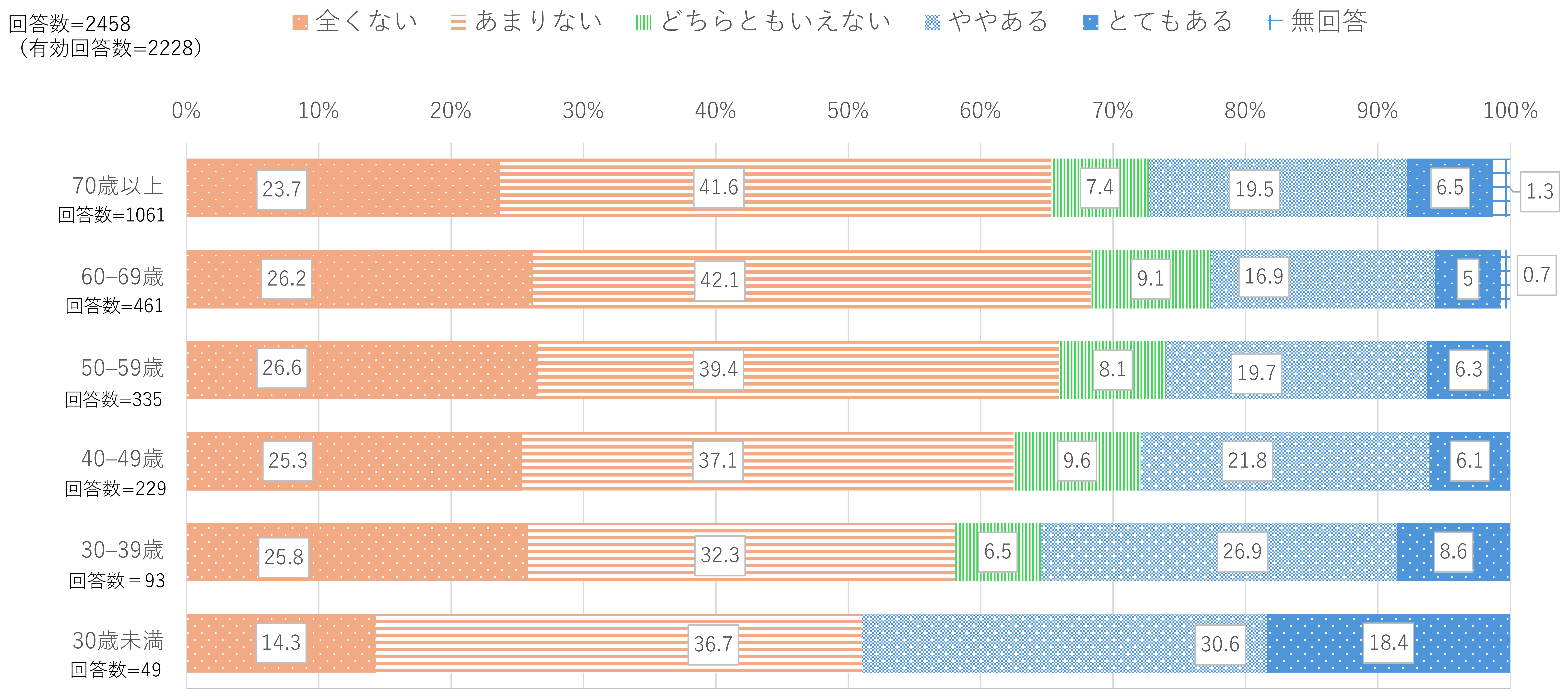


日常的に行っている余暇外出として23.4%の方が散歩と回答。ウォーキングも合わせると31.9%の方が健康の為に歩いている。

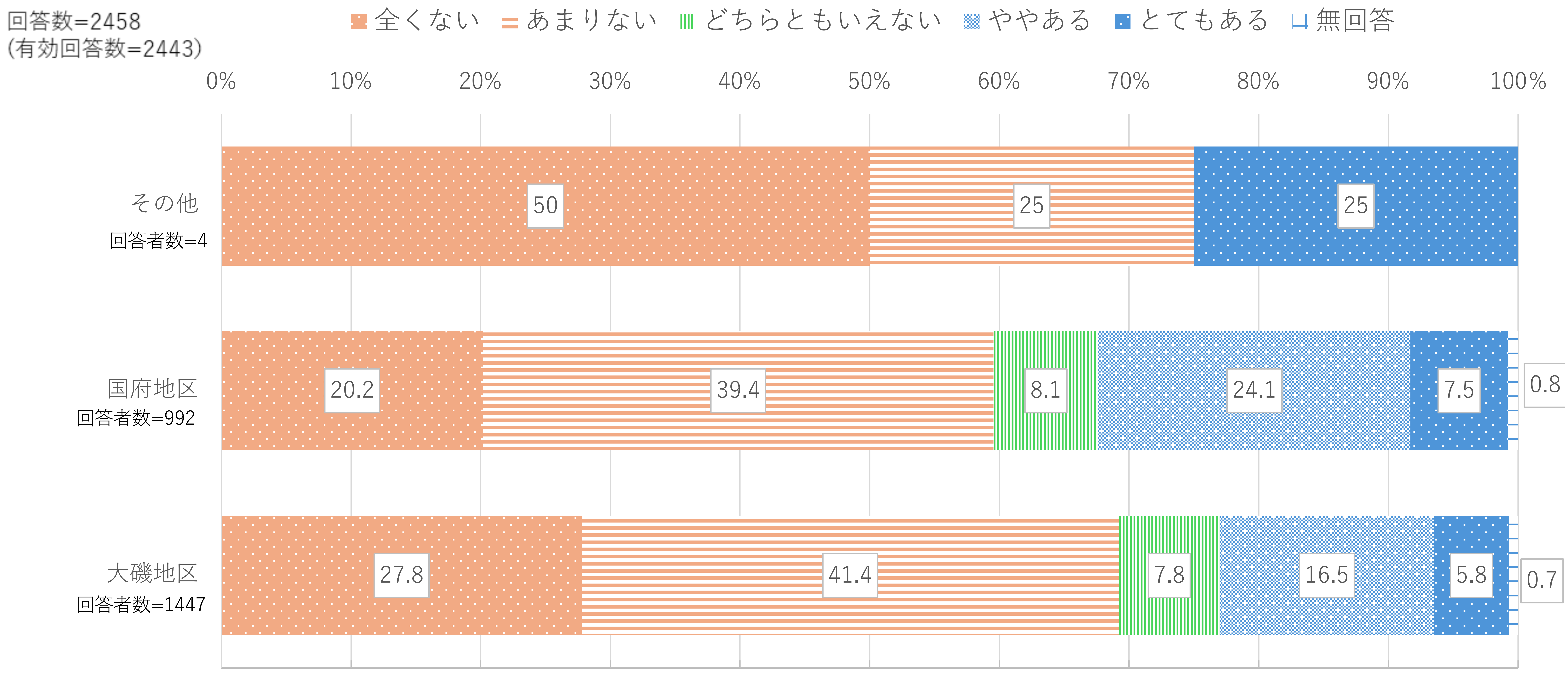
問19 あなたが日常的(仕事・通学・通院など)に外出する範囲は、次のどれにもっとも近いですか、あてはまる答えをお選びください



問17 あなたは日々の移動に関して不便・不満な点はありますか
最もあてはまる答えをお選びください



地区別移動の不満状況



回答数=2458
(有効回答数=2443)
全くない
あまりない
どちらともいえない
ややある
とてもある
無回答
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
その他
回答者数=4
50
25
25
国府地区
回答者数=992
20.2
39.4
8.1
24.1
7.5
0.8
大磯地区
回答者数=1447
27.8
41.4
7.8
16.5
5.8
0.7

問18 １つ前の質問（問17）で「ややある」「とてもある」と回答した方へ
差し支えない範囲で不便・不満な点を教えてください

住民から寄せられた自由記述を整理した結果、
移動の不便・不満は大きく **５つのカテゴリー**に集約されました。

①バスの本数・ダイヤの問題（最も多い）
②駅までの距離・徒歩移動の負担
③自家用車依存による不安
④道路環境の課題（狭い・危険・渋滞）
⑤買い物や生活施設へのアクセス難

① バスの本数・ダイヤの問題（最も多い）

多くの住民の方が、「バスが少ない」「1時間に1本」「終バスが早い」 といった、
バスの運行頻度や運行時間の短さに強い不便を感じている。

住民の方の声（例）

- 「バスの本数が少なくとても不便です」
- 「1時間に1本しかないので予定が立てづらい」
- 「終バスが早く、夜は帰れなくなる」
- 「電車との乗り換えが悪く、待ち時間が長くなる」

② 駅までの距離・徒歩移動の負担

特に高齢者層で、駅が遠い・坂がある・日陰がない といった、
徒歩の負担感 がよく挙がっている。

住民の方の声（例）

- 「駅まで徒歩15分で、暑い日はつらい」
- 「坂が多く、足が弱くなると歩けなくなる」
- 「日陰がまったくなく、夏は歩くのが厳しい」

③ 自家用車依存による不安

車がないと生活しづらく、
特に 免許返納後の生活不安 を多くの住民が感じている。

住民の方の声（例）

- 「車を手放したら買い物に行けなくなるのが不安」
- 「免許を返納したので外出がしづらくなった」
- 「車がないと行動範囲が極端に狭くなる」

④ 道路環境の課題（狭い・危険・渋滞）

道路自体の問題も多く、狭い・歩道がない・渋滞・自転車が危険 などの訴えが見られる。

住民の声（例）

- 「道が狭く、車のすれ違いが大変」
- 「歩道がガタガタで歩きづらい」
- 「国道の渋滞がひどい」

⑤ 買い物や生活施設へのアクセス難

交通の不便さと合わせて、近くに店がない・病院が遠い といった生活の困りごとも多い。

住民の声（例）

- 「徒歩圏内にスーパーがなく不便」
- 「病院へ行くのに車がないと厳しい」
- 「買い物は家族に頼らざるを得ない」

移動の不便さの自由記述まとめ

住民の方の多くは バスの本数の少なさと駅までのアクセスの不便さを中心に、日常の移動について不満や不安を感じている。
また、車に頼らざるを得ない生活環境が強く、
「免許返納後の生活に不安を感じる」 という高齢層の声も多い。
道路の狭さや歩行環境の悪さなど、安全面の課題 も繰り返し指摘されている。

買い物や通院といった基本的な生活行動にも影響が出ており、
地域として 、高齢者の移動手段確保 や バス運行の改善 を求める声が広く見られる。

社会的孤立・孤独に関する
アンケート結果
(問26~30)

セクション4　最後に、周囲の人達とあなたの関わりについてお尋ねいたします。

問26 次のそれぞれの質問に関して、最もあてはまる答えをお選びください。

	9人以上	5-8人	3-4人	2人	1人	なし
少なくとも月に 1 回、会ったり話をしたりする家族や親戚は何人いますか?	o	o	o	o	o	o
あなたが、個人的なことでも話すことができるくらい気楽に感じられる家族や親戚は何人いますか?	o	o	o	o	o	o
あなたが、助けを求めることができるくらい親しく感じられる家族や親戚は何人いますか?	o	o	o	o	o	o
少なくとも月に 1 回、会ったり話をしたりする友人は何人いますか?	o	o	o	o	o	o
あなたが、個人的なことでも話すことができるくらい気楽に感じられる友人は何人いますか?	o	o	o	o	o	o
あなたが、助けを求めることができるくらい親しく感じられる友人は何人いますか?	o	o	o	o	o	o

➡ LSNSスコア
（社会的孤立の尺度）

問27 あなたの周りの人々に関し、最もあてはまる答えをお選びください。

	ほとんどない	たまにある	よくある
あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じることがありますか	o	o	o
あなたは、疎外されていると感じることがありますか	o	o	o
あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか	o	o	o

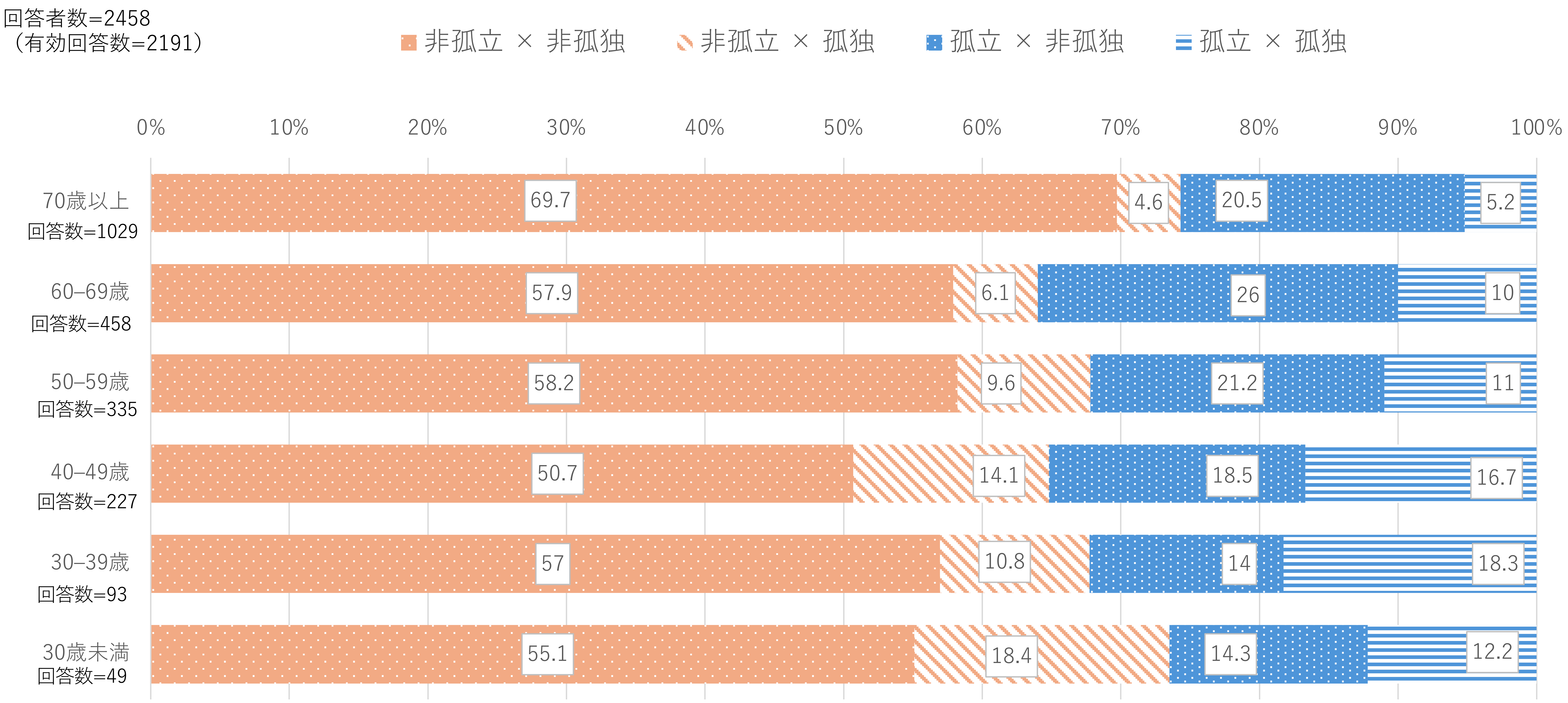
➡ UCLAスコア
（孤独の尺度）

問28 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか、最もあてはまる答えをお選びください。

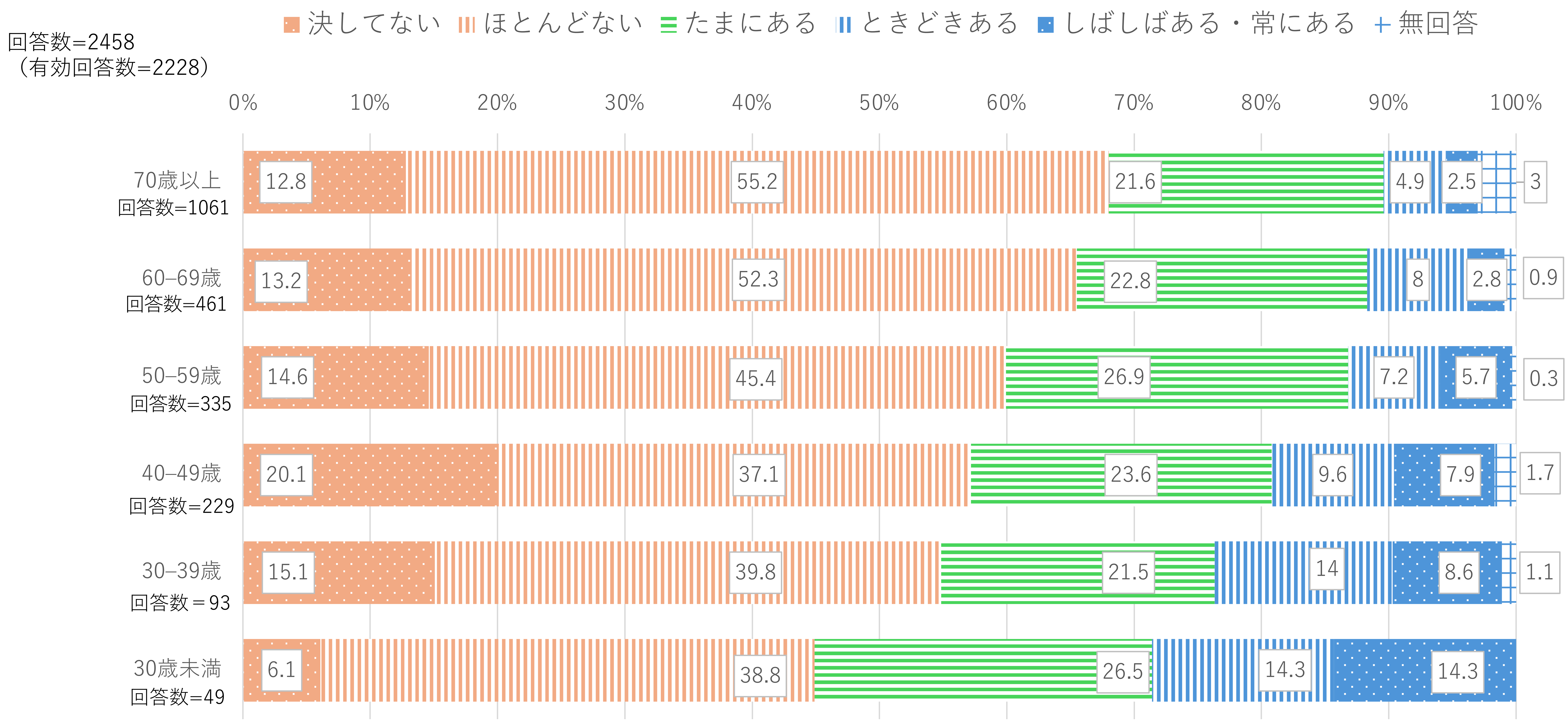
決してない	ほとんどない	たまにある	ときどきある	しばしばある・常にある
o	o	o	o	o

年齢別孤立×孤独4群

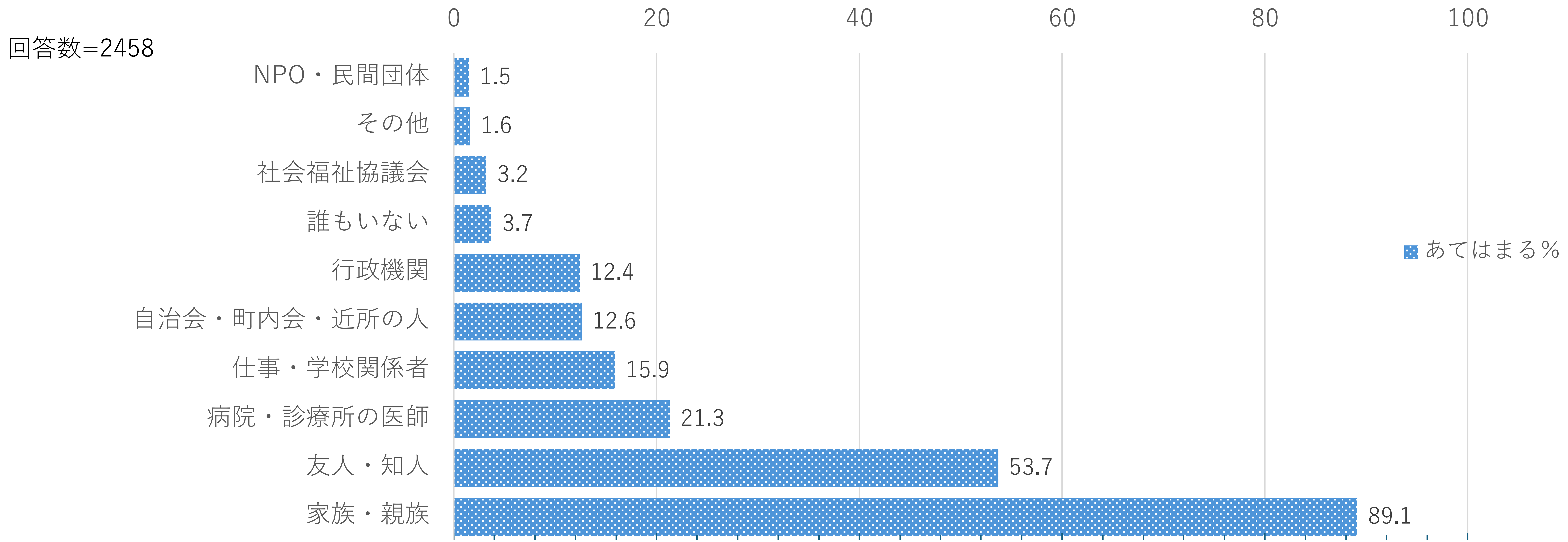
{孤立あり（LSNSスコア<12）なし / 孤独あり（UCLAスコア>5）なし}



あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか(年代別)

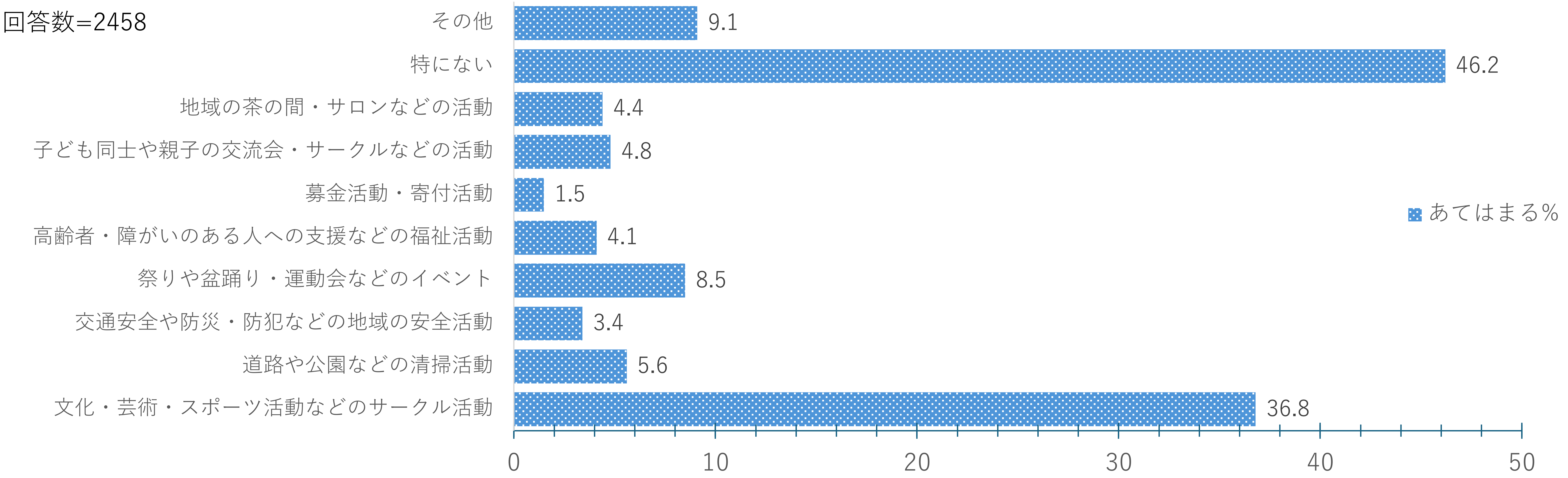


問20　あなたは困ったときに誰を頼りますか。あてはまるものを全てお答えください



住民の方が日頃接点を持つ相手についてみると、
最も多いのは「家族・親族」（89.1%）で、ほとんどの方が家族との関わりを持っています。
次いで「友人・知人」（53.7%）が半数を超え、日常的な交流の相手として重要な存在となっています。
一方で、「自治会・近所の人」（12.6%）や「行政機関」（12.4%）、「仕事・学校関係者」（15.9%）との
つながりは比較的少なく、地域内の人との接点は限定的であることがわかります。
また「誰もいない」と回答した人も3.7%おり、一部では身近に相談や交流のできる相手がいない状況が見られました。

問21 あなたが自分の居場所として楽しく行っている活動はありますか？
次の活動から近いものを全てお選びください。



地域活動への参加状況を見ると、「特にない」（46.2%）と回答した人が最も多く、
半数近くの方が特定の地域活動には参加していない状況です。
次いで参加が多いのは、*「文化・芸術・スポーツなどのサークル活動」（36.8%）で、
趣味や個人の楽しみに近い活動には一定の参加がみられました。
一方、「道路や公園の清掃活動」（5.6%）、「地域の安全活動」（3.4%）、「募金・寄付活動」（1.5%）など、
地域の共同活動・支援活動への参加は全体として低い傾向にあります。
全体として、住民が関わりやすいのはサークルなど個人軸の活動であり、
地域の共同・支え合い活動は参加が限定的であることがわかります。

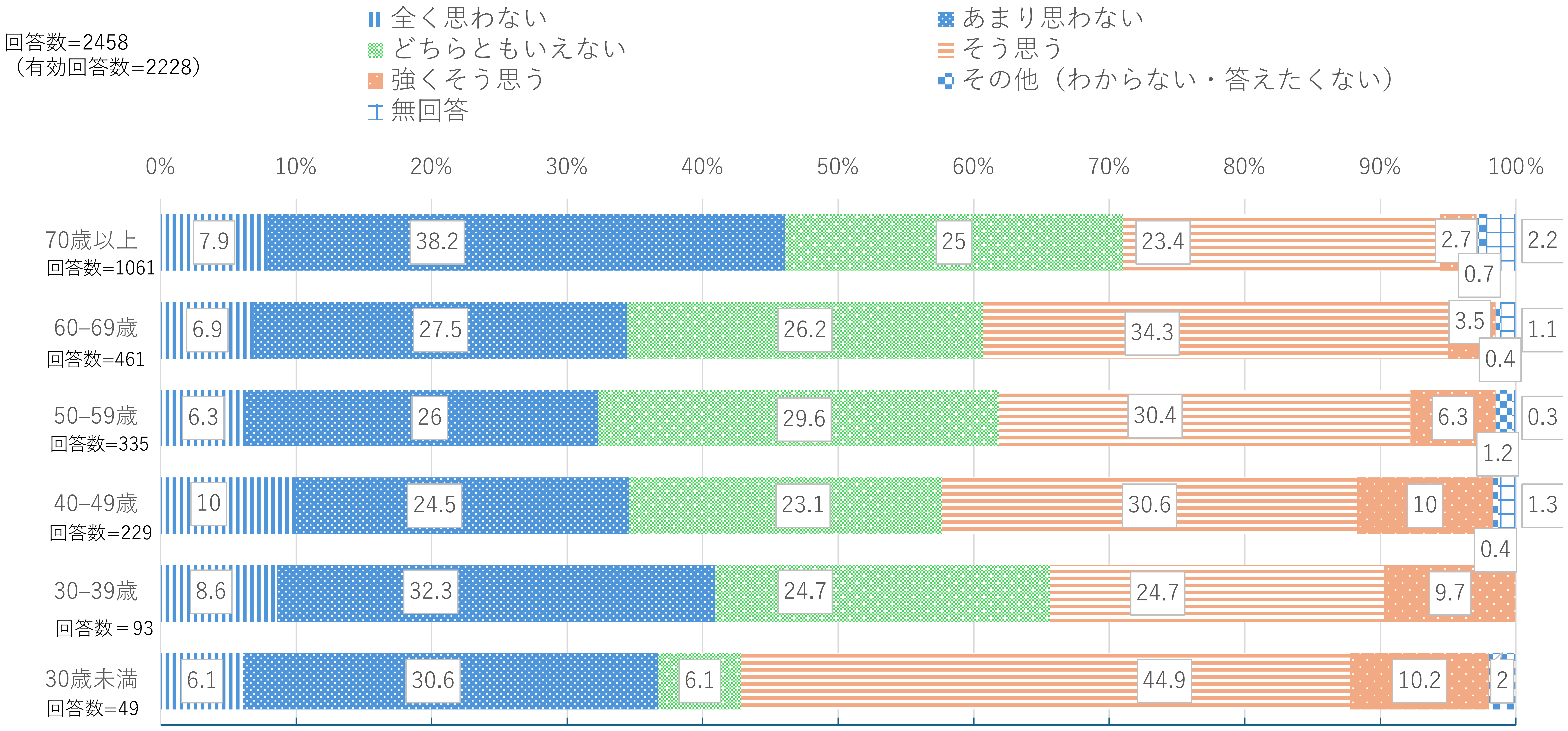
その他

回答数=204

当てはまらない方も49名の方が回答

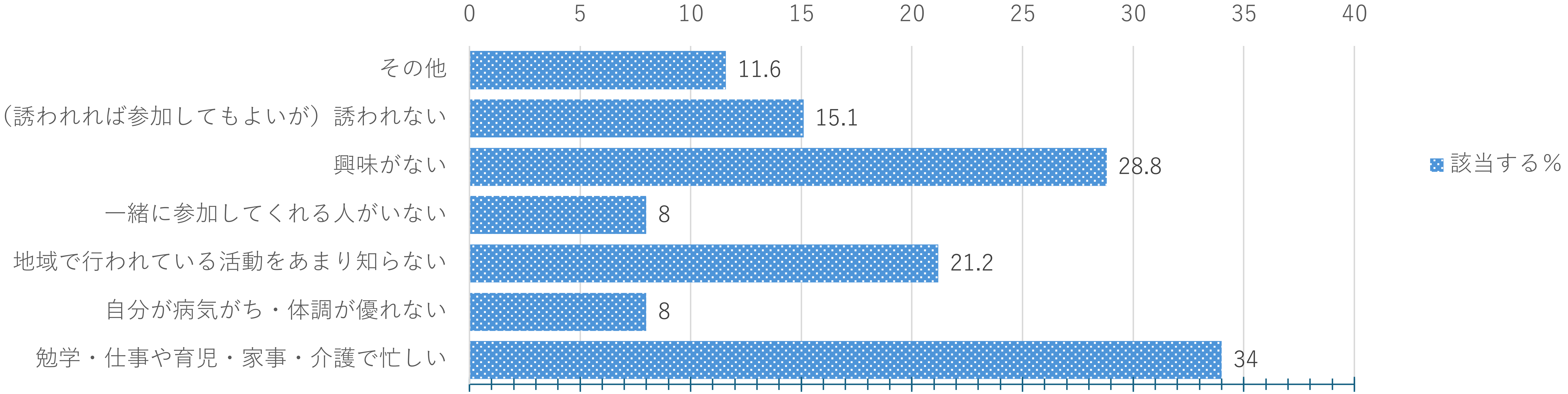
あなたが自分の居場所として楽しく行っている活動はありますか？その他として	人数
社会貢献活動	45
読書・インターネット・創作活動など交流・外出より個人の自己充足感を目的とした行動	27
外での人と行動を共にする会への参加行動	24
仕事・学業に関係する行動	22
共通の価値観を持つ仲間の集まる団体への参加行動	19
継続的に外出し身体を動かす行動	19
共通の関心・思考を持つ人とつながる行動	18
友人・知人・親族に会う交流行動	15
自発的な知的活動・学習参加行動	8
SNSなどオンラインコミュニケーション行動	6
自分が中心または主催する交流行動	5
スポーツ観戦やライブ鑑賞など外出して観覧する行動	3
総計	211

問22 自分の居場所と思える場所を増やしたいと思いますか



問23 あなたが地域で行われている活動に参加しない（できない）理由があれば、次の中から全てお選びください

回答数=2458



住民の方が地域活動に参加しにくい理由をみると、
「勉学・仕事や育児・家事・介護で忙しい」（34.0%） が最も多く、日常生活の忙しさが大きな要因となっていることがわかります。次いで、「興味がない」（28.8%）、「地域で行われている活動をあまり知らない」（21.2%）と続き、活動そのものへの関心や情報不足も参加を妨げる要因となっています。また、「（誘われれば参加してもよいが）誘われない」（15.1%）という声も一定数みられ、周囲からの働きかけの不足も影響していると考えられます。
一方、「体調が優れない」（8.0%）、「一緒に参加してくれる人がいない」（8.0%）といった個人的な事情による理由は比較的少数でした。
全体として、活動参加を促すためには、
忙しい人でも参加しやすい仕組みづくり、活動情報の丁寧な周知、誘い合える関係づくり が重要であることが示唆されます。

「その他」の理由

回答数=254

どうやって入っていけばいいかわからない
過去に参加したからもういい
開催場所への移動が難しい
活動と予定が合わない
既に参加している
現在の日常生活に満足しているから
交流したくないため
高齢者には無理
他の趣味等に時間を使いたいから
知ってる活動には興味がわかない
地域外の活動をしているから
特定の人だけが参加するイメージがあるから
反りが合わない
不在がちだから
役を任されると煩わしいから

AmPlateaプロジェクトのアプローチ

交通手段・移動体(モビリティ）だけの問題ではない -
人と人をつなぐために重要なのは、
『動きうる力（モティリティ）』と、出会いを予感させるような**『予期空間』**

モティリティ ＝ 個人または集団が移動するための「能力」および「可能性」

アクセス： 外的条件。すなわち、自身が利用可能な物理的および経済的なリソース（資源）のこと。

スキル： 内的能力。利用可能なリソースを活用するために必要となる、自身が保有する能力のこと。

アプロプリエーション： 利用可能なアクセスとスキルを行使しようとする**意志や欲求**のこと。

Vincent Kaufmann / *Sociologist*

予期空間 ＝ 個人が物理的に移動を実行する「前」に、地図・メディア・レビューなどを通じて、将来の移動を想像し計画するプロセス。

John Urry / *Sociologist*

移動のための環境や条件（＝モビリティ＋モティリティ）と、個人がその移動を未来へと投影し想像する力（＝予期空間）とが相互に補完しあう社会を目指す

地域の潜在的な”つながるチカラ”を掘り起こす

自治体で行われている既存のコミュニティ活動/イベントに着目し、その潜在的な力を引き出す

- 住民の方々の力を借り、持続可能かつ他地域でも展開可能な活動にする

1）コミュニティの掘り起こし

2）アクセシビリティの向上

オフラインの場作り

オンラインの場作り

3）情報の届け方と意識・行動変容

サービス・モビリティの活用

- 「軒先」までやってくる情報
- サービス利用に連動したコミュニティ推薦

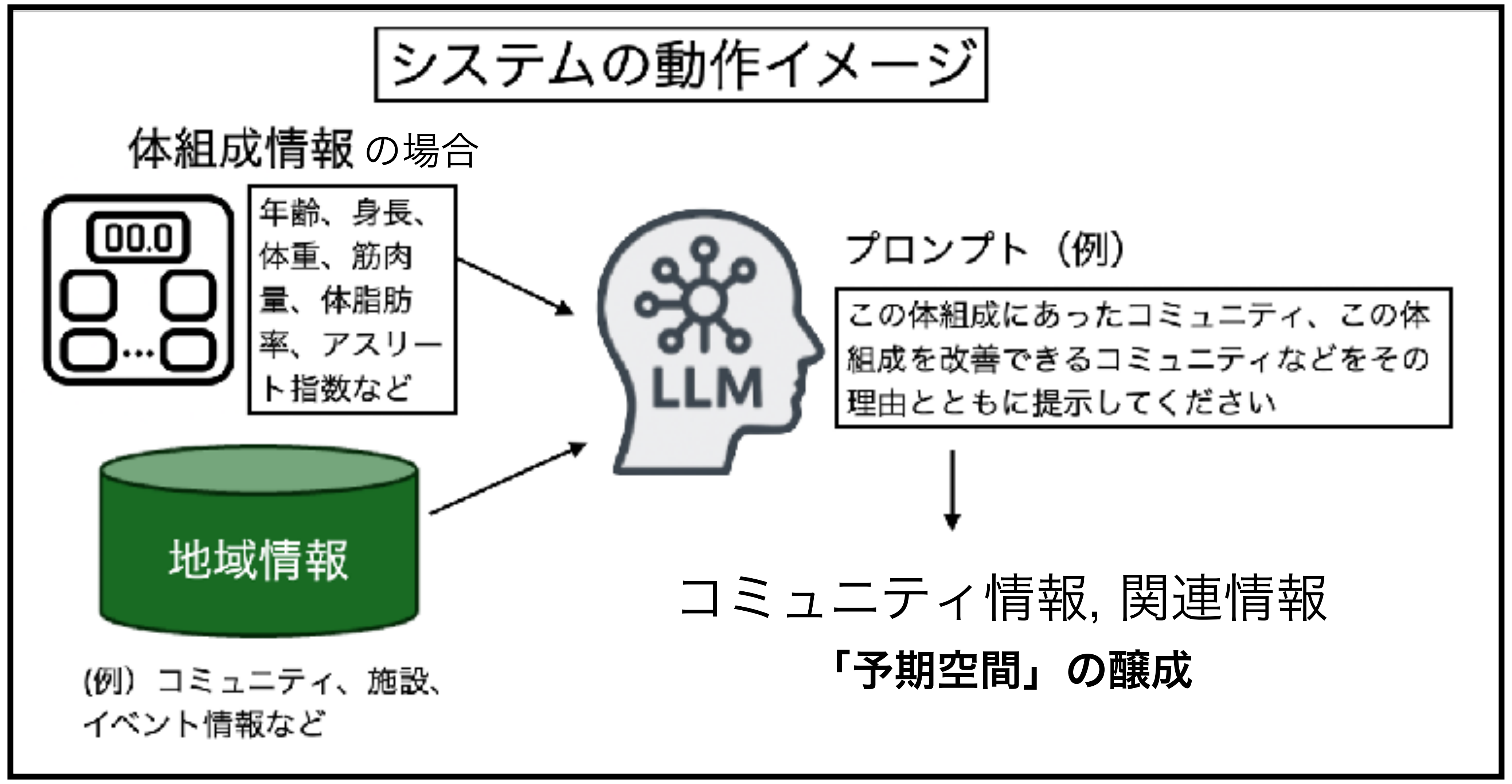
コミュニティ・コンパス

日常の導線の中でコミュニティの存在を意識できる仕掛け

なぜ日常の導線？　→ マス層へアプローチするため

オーダーメイド的な対応は？

→ AIを活用し、その人にあった情報を提供



コミュニティ・コンパスの社会実装モデル

官
- 国・地域戦略への組み込み
- 実証実験の場と制度の提供
- インフラ整備
- 公的サービスとの連携

学
- 理論的基盤の提供と検証
- 産官学民連携の推進
- 効果検証とメカニズム解明
- 人材育成

民
- 活動の場・居場所の提供
- 参加と行動変容
- サポート人材の育成
- 情報提供と相互支援

産
- システム開発・運用
- サービスの場の提供
- データ連携・活用
- ビジネスモデル構築

グリップを握り、体組成を測定します。
Grip the handle to measure your body composition.

コミュニティ・コンパス

（体組成計version）

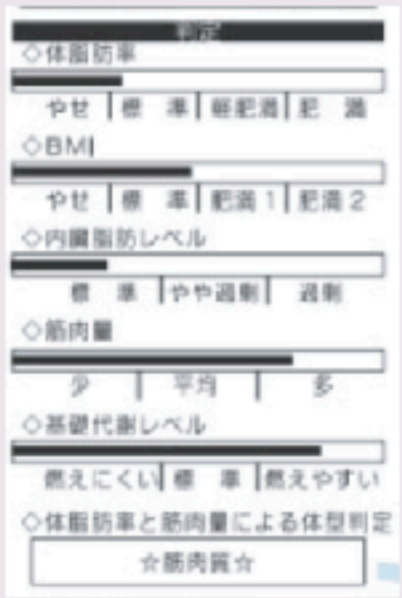
体組成計でからだを測ると
→ が印刷される

2025 年 10 月 11 日（土）

※ 体組成データから AI が提案した内容です。医療的な診断ではないので効果を保証するものではありません。

今日の体組成データ　TANITA DC-13C による測定結果

性別：女性
年齢：25
身長(cm)：164.2
体重(kg)：49.4
BMI：18.4
体脂肪率(%)：24.9
除脂肪体重(kg)：37.1
体水分率(%)：54.3
基礎代謝量(kcal/日)：1180



おすすめの地域コミュニティ

問い合わせや
サークル一覧はこちら

フラダンス

呼吸とポーズを組み合わせて心身を整える運動

活動場所　区民ひろば 西池袋 など

全身筋肉量 34.4kg、体脂肪率 24.9%、BMI18.4 と、やや痩せ型で筋肉はしっかりあるものの、今後の体力維持や骨盤周辺の安定のためには体幹を意識した運動が有効です。例えば『フラ ナ ホク』（目白）などのフラダンス活動は、下肢筋肉を活用しながら体幹も使う優しい有酸素運動であり、楽しみながら身体を整えることができます。ダンス系は精神的なリフレッシュにも効果的で、若年女性にとって継続しやすい点も魅力です。

クラフトバンド制作

クラフトバンドでバッグや季節の小物を楽しむ創作活動

活動場所　区民ひろば 池袋 など

右上肢・左上肢の筋肉量がともに 1.5kg とバランスは取れていますが、細かい手作業を通じて手指の巧緻性を高め、脳の活性化にもつながります。例えば『クラフトバンドの会』（清和第一）では、季節の作品を仲間と一緒に作ることで、心の安定や創造力の向上が期待できます。特に、運動だけでなく感性を活かした活動を求める若年層にとっては、集中と達成感を得られる貴重な時間となります。

おすすめの散歩コース

コース詳細はこちら

3時間で満喫！ 乙女ロードで乙女日和

体脂肪率 24.9%、筋肉量 34.4kg と、心身ともにバランスの取れた体組成の利用者には、過度な運動よりも " 自分の好き " を楽しむ活動がメンタルの安定や幸福感の向上に役立ちます。この散歩コースは、趣味に没頭することでドーパミンを促進し、間に歩行を挟むことで無理のないカロリー消費にも繋がります。また乙女ロード周辺は屋内外の移動が多く、体幹筋（17.5kg）や下肢筋（左右 6.8kg）を自然に活用しながら、楽しみつつ活動量も確保できます。

読んでみませんか？これも学習マンガだ！ 250 選

トキワ荘通り昭和レトロ館 1 階の民間施設マンガピットで閲覧が出来る「これも学習マンガだ！ 250 選」から今回のおすすめ情報に関連したマンガもご紹介します。

作品紹介はこちら

『本屋の森のあかり』

著者：磯谷友紀
出版社：講談社

収蔵場所　豊島区 XX 図書館，マンガピット

同作品含む約 330
作品が読書可能！

本の中には「世界」がある
人生の道に迷った時の小さな灯り（＝本）の魅力を再確認

これも学習マンガだ！ Manga Edutainment

乙女ロードの散歩は、" 自分の好き " を追求しながら、感性を満たすひとときでもあります。『本屋の森のあかり』は、本や文学が好きな女性に寄り添う物語で、登場人物の繊細な心の機微や人間関係を丁寧に描いています。体組成から見ても、感受性豊かで内面的な満足を重視する傾向がある方に適しており、散策後のカフェタイムや静かな夜にじっくり読みたくなる一冊です。読書という " 乙女な営み " と、乙女ロードの世界観が自然につながる作品です。

コミュニティ・コンパス

（POS端末連携 version）

お店で品物を購入すると
→ がレシートに印刷される

株式会社 AmPlateaマート

＜領収書＞

TEL: 0123-456-2525
2024年11月25日（月）13:45

ミーモーマン[おむつ]	¥820
じゅるじゅるん[離乳食]	¥240
哺乳瓶M	¥880

合計	¥1940
お預かり	¥2040
おつり	¥100

【今日のおやくだち情報】
こんな地域コミュニティがあるみたい

ママサークル・キッズ

活動内容: 幼児を持つ親向けのコミュニティグループで、育児に関するワークショップや育児講座、親子イベントを開催しています。

おすすめポイント: 親同士で情報交換ができることに加え、子育てに関する最新の情報や専門家からのアドバイスを受けられる点です。また、地域内での親子の交流が促進されるため、孤立感を減らし、育児のストレスを軽減する支援が受けられます。

株式会社 AmPlateaマート

＜領収書＞

TEL: 0123-456-2525
2024年11月25日（月）13:45

健康茶	¥240
高齢者向けサプリメント	¥980
やさしい味スープ	¥500

合計	¥1720
お預かり	¥2000
おつり	¥280

【今日のおやくだち情報】
こんな地域コミュニティがあるみたい

ヘルシーシニア・フォーラム

活動内容:高齢者の健康と福祉をテーマにしたフォーラムで、健康茶や栄養補助食品に関する情報提供のほか、健康的なレシピの交換や料理クラスを提供しています。

おすすめポイント:栄養と健康に対する知識を深めることができ、専門家や栄養士から直接学ぶ機会が多いです。また、他のメンバーとの情報共有が活発で、高齢者の日常生活に役立つヒントが得られます。

株式会社 AmPlateaマート

＜領収書＞

TEL: 0123-456-2525
2024年11月25日（月）13:45

パワーチャージドリンク	¥380
プロテイン1kg	¥4000
青汁ドリンク	¥600

合計	¥4980
お預かり	¥5000
おつり	¥20

【今日のおやくだち情報】
こんな地域コミュニティがあるみたい

マッスルクラブ

活動内容:筋トレ愛好者を対象としたコミュニティして、プロテインサプリメントの利用、最適な筋トレ方法、リカバリー技術に関するワークショップを提供しています。

おすすめポイント:筋トレ専門のトレーナーが常駐し、個々のニーズに合わせたプランを提案してくれます。また、定期的に開催されるフィットネスイベントはモチベーションの維持に役立ち、コミュニティメンバー間の絆を強化します。

令和７年９月１０日 高際区長記者会見

豊島区公式 としま ななまるチャンネル
チャンネル登録者数 3900人
チャンネル登録

高評価 共有 クリップ 保存

社会実装へ向けた具体的な道筋　【豊島区 新保健所への常設準備（2026年5月～）】

連携協定締結
2025年8月

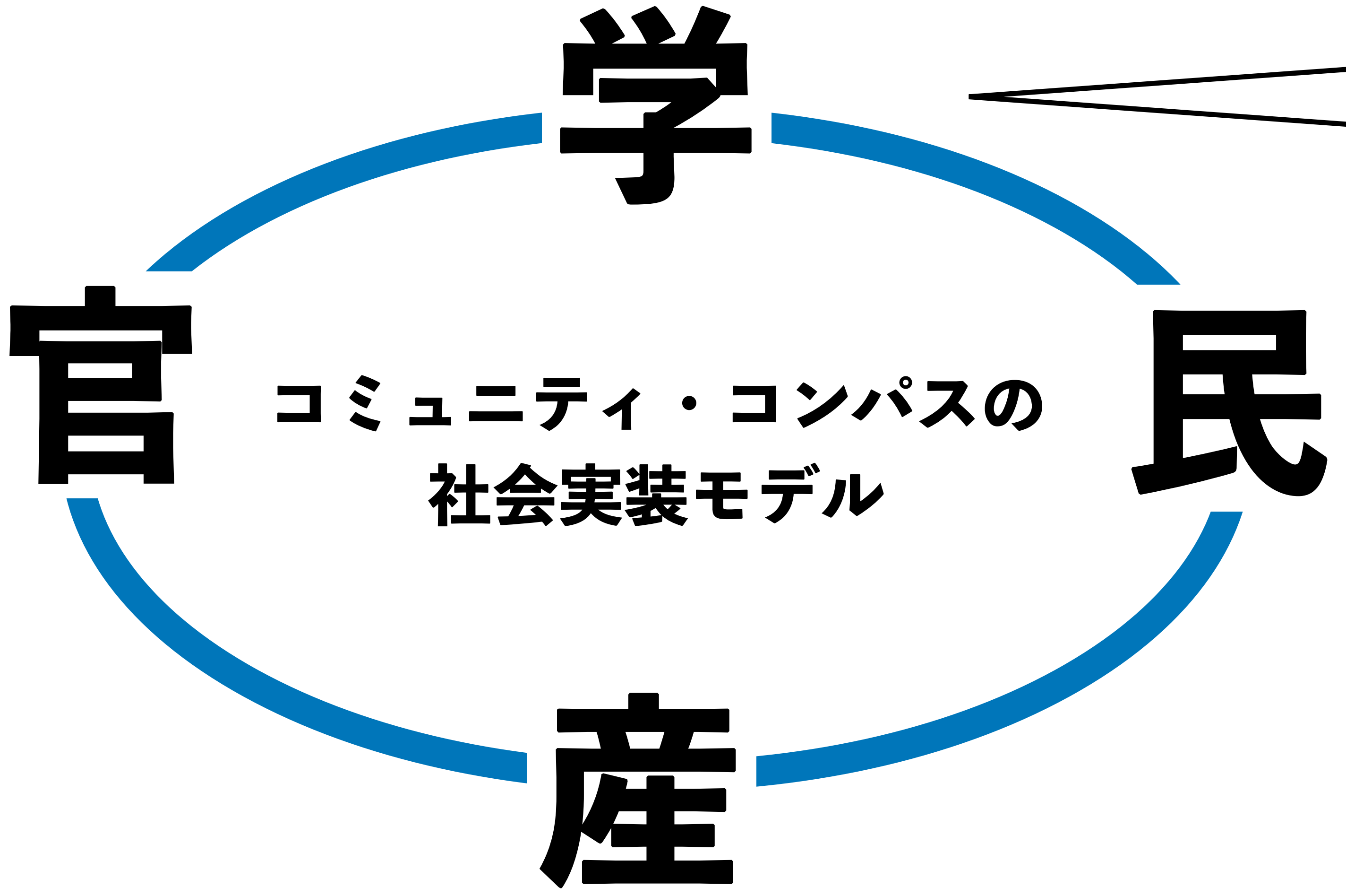
場の提供
新保健所
「わたしメンテラボ」

コミュニティ情報提供
&連絡の窓口

区内サークル情報
（293の「募集中」サークル）

関連情報の提供
「12の散歩コース」

推薦文や内容等の調整・リーガルチェック



プロトタイピング&トライアル
こころ祭(10月)、ふくし祭（12月）

学術的な知見の蓄積と検証

コンソーシアム
活動

区民からのフィードバック

一般社団法人やNPOとの連携

関連情報の提供

マンガ250作品選書リストと推薦文

起業準備中

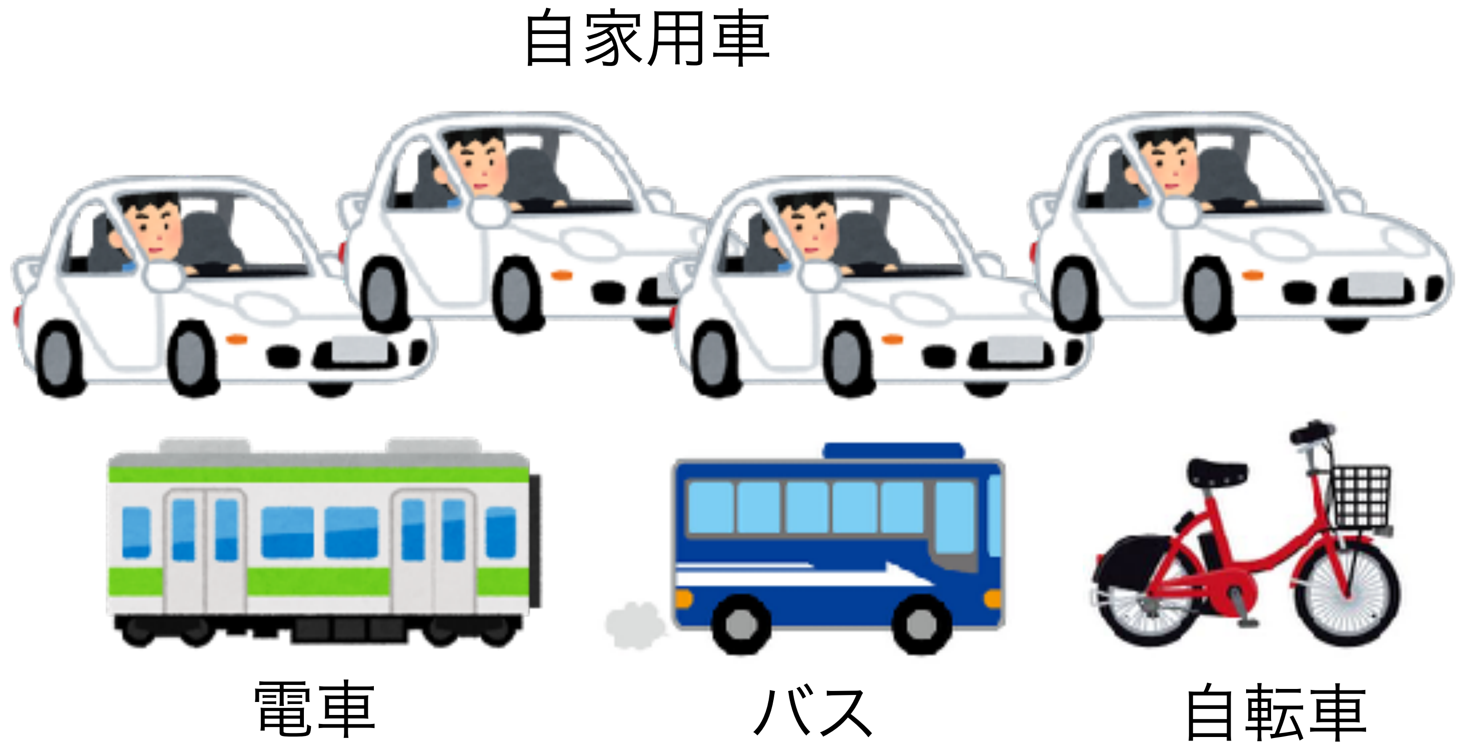
常設に耐えるシステム開発と保守運用

持続可能なビジネスモデル構築

人を繋げるモビリティ

Graduate Program for Lifestyle Revolution based on Transdisciplinary Mobility Innovation

人を移動する
モビリティ



（人が）モビリティで移動する

move by the mobility

サービスを移動する
モビリティ

（人が）モビリティに移動する

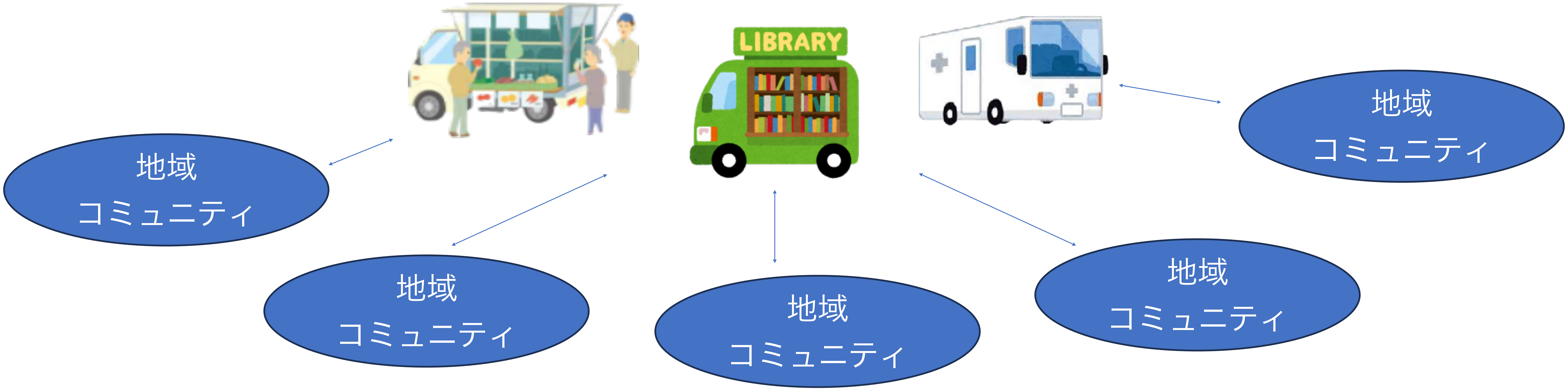
move to the mobility

✓ 人と人の新しいつながりの形

✓ 「点」で「面」をカバーする

→社会的孤立・孤独予防に繋げる

サービス・モビリティ+コミュニティ・コンパス
(近づいてくる+人が集まる)



新しいコミュニティ、居場所が自然と広がっていく社会モデル

まとめ、今後の計画

① **マスな層**（≒4000万人）**にアプローチ**可能としつつ、
② 個々人には**オーダーメイド的な介入**が望ましいという、
<u>相反する要求を同時に満たす必要性</u>

- **コミュニティコンパスにより、オーダーメイドで つながりの「予期空間」の醸成**
  - 社会実装への道筋に光。起業なども通じ「本気」の全国展開を目指す。
- **サービスモビリティとの連携による「モビリティ」「モティリティ」の向上**
  - 全戸アンケート調査で見えてきた「移動」の課題にも対応。**点を面に。**